

2012(平成 24)年度 N科卒研配属(学科内2次)について

2012/3/28 N科卒研委員

1. 卒研配属(学科内2次)の概要

卒研着手条件を満たした学生は、研究室において卒研指導教員の指導を受け卒業研究を行う。卒業研究は必修科目である。学科内配属は第1次、第2次の2回行う。

2. 配属条件(学科内2次)

学科内2次配属の対象者は、(1)卒研着手条件を満たした者のうち、学科内1次配属の配属条件を満たさなかった者、および、(2)卒業研究の再履修者である。

3. 配属定員(学科内2次)と募集案内

次の卒業研究の指導教員(15名)が募集する。配属定員(学科内2次)は原則として各研究室1名とする。

井家、井上、岩田、上平、臼杵、海野、岡崎、岡本(剛)、

岡本(学)、塩川、須賀、鳥井、中村、丸山、凌

各研究室の募集案内はWebページ <http://www.nw.kanagawa-it.ac.jp/home/lab2012> に掲載する。

4. 配属スケジュール(学科内2次)

日時	内容	備考
4月2日(月)	掲示:実施案内	N科事務室前の掲示板
4月3日(火) 15:00~16:20	掲示確認の指示	新4年生向け「卒業研究未着手者説明会」の時間
4月9日(月) 11時から 4月11日(水) 16時まで	配属希望申請期間	N科事務室前の 掲示板、提出BOX
4月19日(木) 正午	発表:配属結果	N科事務室前の掲示板

5. 配属希望の申請

各学生は配属申請期間内に、以下に示す方法で第1から第8志望まで配属希望の申請を行うこと。

なお、卒業研究の再履修者は、原則として、前年度配属された研究室を希望することはできない。

● 第1志望

第1志望記載表(N科事務室前に設置)における希望する研究室の欄に、ボールペン等の消えない筆記用具を用いて、自分の学籍番号および氏名を記入する。

なお、希望する研究室の欄が埋まっている場合は、表の当該研究室欄下部の余白に記載すること。

● 第2~8志望: 第2志望以降用の申請書に記入し、指定ポスト(N科事務室前に設置)に投函する。

6. 配属の決定方法

6.1. 配属決定手続き：学科内2次配属における配属先研究室は次のように決定する。

(1) 第1志望

募集定員に達するまで希望通り決定する。

ただし、志望者が定員を超過した場合には、定員の全てを各指導教員が決定する。

(2) 第2志望以下

- 第1志望を決定後、募集定員を充足していない場合は、未決定の学生を申請した志望順位に基づいて決定していく。
- 第2志望において志望した研究室が定員を超過した場合は、志望者のGPA値の高い順に定員に達するまで決定する。
- 第2志望で配属先が決まらない学生は、第3志望以後の配属となり、以後、同様な配属手続きを繰り返し第8志望まで決定する。
- 第8志望までで配属先が決まらない学生は、抽選により定員を充足していない研究室に決定する。

(3) 配属希望の申請を行わない学生：定員を充足していない研究室に抽選で配属される。

6.2. 配属決定例

A) A研究室(定員9名)に対して、第1志望者が5名、第2志望者が2名、第3志望者が4名いた場合

- ① まず、第1志望者が配属される(合計5名)
- ② 次に、第2志望者が配属される(合計 $5+2=7$ 名)
- ③ ここまでで定員まで2名の空きがあるので、第3志望者の4名の中からGPA値が高い者から2名が配属される。(合計 $5+2+2=9$ 名)

B) B研究室(定員9名)に対して、第1志望者が9名、第2志望者が5名、第3志望者が4名いた場合

- 第1志望者の数が定員数と等しいため、第1志望者は全員配属される。

C) C研究室(定員9名)に対して、第1志望者が10名、第2志望者が5名、第3志望者が2名いた場合

- 第1志望者の中から配属定員数を卒研指導教員が決定する。

7. その他 自分が第2次配属の対象者か否かの確認は、卒研委員まで。

以上。